

KOBE

神戸 KOBE PHILHARMONIC
フィルハーモニック

第89回

The 89th
REGULAR
CONCERT

PHIL

指揮 坂入 健司郎 Kenshiro Sakurai

定期演奏会
〜故郷を感じるメロディ〜
達

HAR

2025年 **6月1日** (日)
神戸文化ホール 大ホール
14:00 開演 / 13:15 開場

— 全席自由
入場料 一般前売 ▶ 2,500円 (当日 ▶ 3,000円)
学生 ▶ 1,000円 (前売、当日共)

— チケット
発売日 2025年 1月11日(土) 10:00 ~
■ 神戸文化ホールプレイガイド
TEL.078-351-3349
■ イープラス <https://eplus.jp>



■ A. ドボルザーク: 序曲「オテロ」作品93
ANTONIN DVORAK: OVERTURE "OTHELLO" OP. 93, B. 170

■ Z. コダーイ: ガランタ舞曲
ZOLTAN KODALY: DANCES OF GALANTA

■ A. ドボルザーク: 交響曲 第9番 ホ短調 作品95「新世界より」
ANTONIN DVORAK: SYMPHONY NO. 9 IN E MINOR, OP. 95, B. 178 "FROM THE NEW WORLD"

※やむを得ず曲目、出演者を変更する場合があります。※学生券はご入場の際に学生証の提示をお願いする場合があります。※未就学児童の入場はお断りいたします。

主催: 一般社団法人 神戸フィルハーモニック協会 共催: 公益財団法人 神戸市民文化振興財団 協力: 神戸フィルハーモニック後援会
お問合せ: 神戸フィルハーモニック(富樫) 090-9613-6268

©Taira Tairadate

Happy・Friendly・Open mind



神戸と街と音楽と

～故郷を感じる メロディー達～

89回目の定期演奏会は、民族音楽に興味を持ち自身の作品に多く取り入れた2人の作曲家の作品を取り上げます。

まずは、民族音楽の研究者としても有名なハンガリーの作曲家、コダーイ(1882-1967)が作曲した「ガランタ舞曲」です。幼少期を過ごしたガランタ地方に伝わる民謡を題材として作曲されたこの作品は、哀愁を帯びた優しいメロディーが印象的です。クラリネットの大ソロも注目です。

そしてメインはドボルザーク(1841-1904)の交響曲第9番「新世界より」です。この曲は交響曲の中で最も有名な楽曲の一つではないでしょうか？アメリカに渡ったドボルザークが故郷のボヘミアに想いを寄せた楽曲で、2楽章は、有名な「家路」のメロディーで、下校を知らせる音楽と言えば良いでしょうか？必ず皆さんも聴いた事があるはず！あのメロディーの前後がどうなっているか確かめられるのも面白い聴き方かもしれません。

創設45周年を迎え、演奏に磨きがかかる神戸フィルのタクトを、最近の活躍が目覚ましい坂入健司郎氏に託します。坂入氏の音楽性と神戸フィルの伝統のサウンドが相乗効果を起こし、皆さまを未知なる世界へと誘います。神戸フィルがさらなる高みへ進む姿を皆さまと共に見届けたいと思います。ご来場、心よりお待ちしております。

神戸フィルハーモニック 団員一同



©Taira TairaDate

坂入 健司郎 KENSHIRO SAKAIRI

神奈川県川崎市出身。慶應義塾大学経済学部卒業。指揮を三河正典、山本七雄の各氏に、チェロを望月直哉氏に師事。また、指揮講習会等を通じてV.フェドセーエフ、飯守泰次郎、井上道義、井上喜惟、小林研一郎各氏の下で研鑽を積んだ。

2008年には東京ユヴェントス・フィルハーモニーを結成。J.デームス、G.ブーレ、館野泉など著名なソリストを迎え、一方、数多くの作品の日本初演・世界初演も行なっている。

16年、新鋭のプロフェッショナルオーケストラ・川崎室内管弦楽団の音楽監督に就任。

20年、日本コロムビアの新レーベルOpus Oneよりシェーンベルク「月に憑かれたピエロ」をリリース。他にも多くの録音を発表しており、「レコード芸術」誌の特選盤に選出されるなど高い評価を得ている。

これまでにモンテカルロ・フィル、読売日響、日本フィル、新日本フィル、シティ・フィル、神奈川フィル、仙台フィル、山形響、群馬響、名古屋フィル、セントラル愛知響、愛知室内、大阪フィル、大阪市響、兵庫芸術文化センター管、九州響などと共演。

24年5月、N響と初共演。「内容のある初共演」と「音楽の友」誌上で評された。



神戸フィルハーモニック

KOBE PHILHARMONIC

神戸市民のオーケストラとして神戸市により設立された神戸フィルハーモニックは、1979年4月、朝比奈隆氏をはじめとする多くの文化人や実業家によって設立された「神戸市交響楽協会」を運営母体にその活動を開始した。

オーディションによりプロ・アマ問わず腕利きのプレイヤーが集結、他に類を見ない新しいスタイルのオーケストラとして、1980年1月、神戸文化ホール大ホールにてデビューコンサートを実施。以来、年2回の定期演奏会、ニューイヤーコンサートに加え、依頼演奏や小編成によるサロンコンサートなど、各地で精力的に演奏活動を展開している。また、創立当初から朝比奈千足が音楽監督兼常任指揮者を務め、一貫した音楽性と表現力で同団を牽引し、豊かな神戸フィルサウンドを創造し続けている。

1995年、阪神淡路大震災後、同団や団員も被災者でありながら各地で慰問演奏を実施。2011年、東日本大震災発生後、復興への思いと感謝の意を込め、チャリティコンサートを実施し、その収益金を東日本あしなが育英会等へ付与。南三陸町歌津地区や南相馬市へ訪問演奏するなど現在もその活動を継続している。

1997年、神戸市文化活動功労賞を受賞。2020年、創立40周年を迎えた同団は、「神戸市民のためのオーケストラ」として、上質なクラシック音楽とオーケストラの魅力を全国に発信し続ける。

今後の演奏会

第90回定期演奏会

2025年10月26日(日) 14:00開演/13:15開場
神戸文化ホール 大ホール

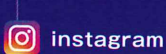
出演 | ティンパニ独奏:中谷 満 指揮:朝比奈 千足
曲目 | F. シューベルト:交響曲 第7番 口短調 D.759「未完成」
W. テーリヒェン:ティンパニ協奏曲 作品34
L.v. ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」

ニューイヤーコンサート2026

2026年1月11日(日) ※開演時間未定
神戸芸術センター 芸術劇場

出演 | 指揮:朝比奈 千足
曲目 | J.シュトラウスII:美しく青きドナウ ほか

神戸フィルハーモニック
公式SNSのご案内



後援会ご入会のお願い

神戸フィルハーモニックの後援会にご入会いただき、神戸フィルを応援していただませんか？皆さまのご協力をお願いいたします。

年会費 **6,000円**(1口以上)

- 特典 ①年2回の定期演奏会及び、ニューイヤーコンサートへのご招待
- ②会員証の発行
- ③定期演奏会のプログラム、ホームページへのご芳名のご記載

入会方法 右記のコードからお申込みいただくか、
<http://www.kobephilharmonic.jp/formkoenkai1.htm>
へアクセスの上、お申込みフォームからご送信ください。



神戸文化ホール

〒650-0017
神戸市中央区楠町4丁目2-2
アクセス

- 神戸市営地下鉄西神・山手線「大倉山駅」徒歩1分
- 神戸高速鉄道「高速神戸駅」徒歩8分
- JR「神戸駅」徒歩10分
- 神戸市営地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」徒歩12分

